

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内
TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒566-8585 大阪府摂津市西一津屋 1-1 ダイキン工業 (株) 淀川製作所
TEL. 06 (6349) 0241 FAX. 06 (6349) 9865 油機事業部内

第 16 回定時総会 (平成 27 年度) 開催される

第 16 回定時総会が 5 月 14 日 (木) 15:30 ~ 16:50 頃までの間、東京プリンスホテル 2 階の「マグノリアホール」において開催されました。はじめに梶本議長は、総会への会員企業の出席状況について事務局に説明を求め、事務局から「梶本会長以下理事・監事正会員企業等から 36 社、40 名の出席が、また、委任状提出会員企業が 18 社あり、定款の定めるところにより第 16 回定時総会は有効に成立しています。」旨報告しました。

さらに本定時総会には、賛助会員企業からも 10 社、13 名の皆様方が出席されたほか、来賓として、経済産業省製造産業局産業機械課の服部課長補佐及び中嶋係長のお二人が陪席された。梶本議長は服部課長補佐から挨拶をいただきたい旨要請、



第 16 回定時総会 (東京プリンスホテル)

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第 16 回定時総会開催・・・・・・・・・・	1	技術調査事業・・・・・・・・・・	6
委員会開催・活動状況		中小企業関連事業・・・・・・・・・・	6
国際交流事業・・・・・・・・・・	4	会員ニュース・・・・・・・・・・	6
標準化事業/ISO 対策事業・・・・・・・・	5	工業会ニュース・・・・・・・・・・	6
標準化事業/規格事業・・・・・・・・・・	5	統計資料・・・・・・・・・・	9

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL <http://www.jfpa.biz/>

服部課長補佐より挨拶を兼ねて最近の経済動向等について説明がありました。次に議長は、定款第19条に基づき議事録署名人2名を指名した後、議事次第に沿って審議を進め、第1号議案及び第2号議案は承認され、第3号議案の報告は了承されました。

議事次第

第1号議案

平成26年度事業報告及び決算（案）の件

第2号議案

理事選任の件

第3号議案

平成27年度事業計画及び予算に関する報告の件

第4号議案

その他

第1号議案の「平成26年度事業報告書及び収支決算報告書」（案）について、事務局から配布資料第1号により主要実施事業の概要を説明した。次に、収支決算書（案）について①収支計算書②貸借対照表③正味財産増減計算書③財産目録等について説明しました。

次いで議長は監事に監査報告を求め、監事を代表して古川監事より監査結果について「妥当かつ正確であった」旨の報告がありました。その後、議長は本案を議場に諮り異議なく承認されました。（詳細は月報4月号を参照ください。）

第2号議案の「理事の選任」の件について、事務局より配布資料第2号を用いて説明した。議長は本案を議場に諮り異議なく了承されました。

第3号議案の「平成27年度事業計画書及び収支予算書」について、事務局より配布資料第3号を用いて主要事業の概要を説明しました。また、平成26年度の収支決算書の確定に伴い本年4月17日に開催された理事会で承認された平成27年度収支予算書の一部を変更した予算規模総額が118百万円強、事業費総額77百万円強・管理費総額37百万円強さらに60周年記念事業積立金2百万円からなる予算を説明しました。議長は本案を議場に諮り異議なく了承されました。（詳細は昨年の月報12月号及び本年4月号を参照ください。）

第4号議案のその他については、統計資料や今後のスケジュールを説明し、梶本議長は16:50頃に会議を終了しました。

その後、17:00から「鳳凰の間・東」において懇親の会を開催しました。

懇親の会では、はじめに梶本会長が開会の挨拶を行った後に来賓を代表して経済産業省製造産業局産業機械課の佐脇 課長よりご挨拶をいただきました。会場内は会員企業をはじめ学会、

官界・当会顧問・関係団体・報道関係・当会会友の方々等200名近くの多数の皆様方が参集し懇親を深められ、18:40頃に和気あいあいのうちに散会しました。

懇親の会での梶本会長挨拶

「ご紹介いただきました会長の梶本でございます。皆様、本日は大変お忙しいなか第16回定時総会後の懇親パーティにご出席いただき誠にありがとうございます。先ほど、別室で行いました定時総会の議事は全て了承されましたことをまずもって皆様にご報告させていただきます。

さて、私どもの最も大きな関心事項である経済動向ですが、この4月20日に発表された月例経済報告では、「雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、原油価格の下落や各種政策の効果もあって、穏やかに回復していくことが期待される。ただし、海外景気の下ぶれなど、我が国の景気を押し下げるリスクに留意する必要がある。」としております。この「リスクに留意する必要」との一言が我々工業会会員にとっては大きな課題であります。また、5月1日に、日銀がとりまとめた「経済・物価情勢の展望」では、今年、来年にかけては潜在成長率を上回る成長を続け、平成27年度にかけては、消費税引き上げ前の駆け込み需要とその反動の影響を受け、潜在成長率を幾分下回る程度に減速しつつも、プラス成長を維持すると予測しております。



挨拶する梶本会長

これは、国内を見れば、アベノミクス効果が表れ、産業界が今後の成長に向けた各種の投資を行うことにより、先行きは大いに期待できると考えられます。

一方、海外経済動向を見ますと、米国経済は、家計部門の堅調さが企業部門を牽引することによって、引き続きしっかりと成長が見込まれる一方、欧州経済もECBによる金融緩和策等を背景にドイツを中心に明るさが見えつつありますが、ギリシャ情勢を含む債務問題等依然としてリスクが見え隠れしております。

また、中国経済については、依然として製造業の過剰設備問題、不動産市況の低迷等を背景に成長率は鈍化するペースが速まってきている様子で、それが他のアジア諸国及び世界経済に及ぼすマイナスの影響も大きいのではと、頭の痛い問題です。

さて、わがフルードパワー産業の本年度の動向を見ますと、全体的には空気圧機器を中心に明るさが期待されておりますが、油圧機器は先に述べた中国の不動産市況の低迷を背景に建設機械の過剰在庫問題等があり厳しさが予想されております。経済のグローバル化は、フルードパワー業界にもその対応を求めています。会員企業の積極的な対応はもとより工業会としても「会員のための工業会」として、会員企業活動の支援体制の強化、フルードパワーシステム学会や経済産業省との連携強化等を柱に一層の事業の充実を図る所存であります。また、来年度には、当工業会設立60周年を迎えることから、60周年記念事業を立案し、実施に移してゆきたいと考えております。最後になりましたが、ここにおられる皆様方のご健康と業界の発展を祈念して、私のご挨拶とさせていただきます。」

懇親の会の佐脇産業機械課長挨拶

「皆様こんにちは。経済産業省の佐脇でございます。諸先輩方がおられる中、甚だ僭越ではございますが、ご指名ですので、一言ご挨拶申し上げます。本日は、日本フルードパワー工業会の総会がつつがなく開催されたと伺っております。大変お疲れ様でございました。そして、おめでとうございます。また、このような場にお招きいただきまして誠にありがとうございます。」

さて、先ほど梶本会長からも、日本経済の状況に結びつけつつ、油圧、空気圧業界の直近の見通し、展望についてお話しがあったかと思います。昨年7月に私が産業機械課長に着任して以来、皆様方のご努力を受けた形で、景気が非常に上り調子の中で業務に当たらせていただいております。期末を迎え、様々な数値の発表がなされておりますが皆様非常に元気に業績を上げておられる方が多いと感じており、この傾向を更に力強いものにしていくためにも政府として引き続きしっかりと取り組んでまいります。

フルードパワー業界について言えば、需要変動のリスク要因を挙げ始めるとキリが無い訳ではございますが、全体の大きなトレンドとしましては、やはり中国をはじめとする途上国等では、機械を使っていくという新しい需要がどんどん広がっていくことは間違いがないと考えております。油圧、空気圧それぞれ時間の差こそあれ、市

場の広がりも確実であり、その市場を如何に日本がこれまで蓄えてきた技術、ノウハウをしっかりと活かして獲得していくか、そういった観点を中核に据えて、皆様方のビジネスをお手伝いしていければと考えております。

一方で、日本フルードパワー工業会におかれても、業界全体の成長をしっかりと支えるための活動を地道に積み重ねてこられ、その結果として来年創立60周年という大きな節目を迎えられる訳でございます。こういった節目節目で、この油空圧という分野が日本のこれまで、そして将来を支える非常に重要なキーテクノロジー、産業の基盤技術であるということを世の中にしっかりと示していくということは、ある意味では、新しい若い力にリーチし、関心を引き寄せ、呼び込んでいくという効果もあるかと思っております。そういう意味も含め、この60周年記念に向けた準備を工業会挙げて取り組んでいかれることは将来に対する大きな投資の一つとして非常に重要なことと認識しており、私どももできる限り支援させていただきたいと思っております。



挨拶する佐脇産機課長

また、工業会活動もいろいろお忙しいようで、確か5月末には、ISOの国際会議を主催されると伺っております。国際会議の主催というものは、規模の大小の差こそあれ、係る手間は同じでして、工業会事務局の皆さんを中心にご苦労されていることと拝察いたします。これも基盤的技術である油圧・空気圧ならではのということになりますが、業界分野の規格をしっかりと作り上げることが業界のためのみならず、ひいては産業界全体の基盤を支えるという重要な仕事であると認識しております。こういった活動にもしっかりと工業会として取り組んでいただいているということは大変ありがたいことであると感謝しております。

私どもも負けていけないものですから、国際展開、環境対策等の政策支援に取り組んでいるところです。そして昨年来、油圧空圧のアプリケーションの一つでもありますロボット、非常に広い

意味でのロボットの振興という御旗の下で頑張っております。ファクトリーオートメーションもそうですし、建設機械等もそうですが、いろいろな機械がある種の知能化要素を備えながら、広く市場に行き渡っている現状におきまして、そういったものを非常に広い範囲で応援していきたいということでございます。本年1月に政府で策定したロボット新戦略に明記された各種の方策について、幅広い担い手の皆様方に盛り上げていただくと言うことで、実は明日夕刻に協議会を設立することにしております。おかげさまで非常に大々的に立ち上げがなされる準備が整いつつありまして、日本フールドパワー工業会におかれましてもしっかりとご参加いただけると伺っております。また、個別企業の参加も期待しているところです。会費は無料ですので是非ともご関心を持っていただければ幸いです。政府のこのような旗振りそのものが皆様のビジネスに与える影響は僅かなものかもしれませんが、一つの波を作ることがそれをきっかけに大きなうねりに繋がることもあると考え頑張っていきたいと思っておりますので、ご活用いただけますようお願いいたします。

いずれにせよ、この景気上昇の勢いがより本格的で、長期に亘るものとなり、その好感が隅々に行き渡ることで、日本経済の好循環が生み出されるよう、環境整備に努めて参りますので、皆様方におかれましても本年益々ご発展され、幸多き一年になることをお祈りしまして、簡単ではございますがお祝いの挨拶とさせていただきます。」



総会後の懇親全景（鳳凰の間・東）

第53回 JFPA 親善ゴルフ大会

総会翌日の5月15日（金）に程ヶ谷ゴルフ倶楽部において標記親善ゴルフ会を開催しました。当日はスタート時から好天に恵まれ、梶本会長、宮内元会長、十万副会長、北畠副会長等総勢20名が参加し、9:12にOUT3組・IN2組が同時にスタートしました。当日は絶好のゴルフ日和で、スコアに満足した方ややや不本意な方も多々い

たようですが、プレーは順調に進行し、午後2:45頃に無事終了しました。成績は以下の通りです。

- 優勝 近藤 綱亮
（三明電機（株）代表取締役社長）
- 2位 寺田 稔
（ダイキン工業（株）営業部長）
- 3位 十万 幹雄
（神威産業（株）代表取締役社長）

委員会開催・活動状況報告
（詳細については各担当者にご照会下さい）

~~~~~  
国際交流事業  
~~~~~

ハノーバー・メッセ視察団報告会

日時 5月14日（木） 14:00～15:15
場所 東京プリンスホテル 11F 高砂
出席者 野口団長以下47名（内発表者19名）
事務局 藤原、堀江、吉田

4月9日～17日の9日間派遣した「ハノーバー・メッセ2015視察団」の報告会を開催しました。

はじめに野口団長（KYB(株)）による視察団の全体概要報告があり、続いてメッセ会場を油圧関連、空気圧関連、メッセ全般の3つのグループ、企業訪問はスズキ自動車とコマツ建機の2つのグループの計5つのグループに分けて報告を行いました。各グループは2～3名が報告内容を分担し、写真やグラフ・表等を織り交ぜて口頭で説明していただきました。報告会の開催日を、定時総会の前開催としたことから、各会員企業の代表として会長や社長等の幹部の皆様方が多数参加されました。こうした発表会は、発表者たちにとっても非常に有意義であり、今後も継続すべく検討することとしました。



報告する野口団長

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
標準化事業／ISO 対策事業
〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

* ISO の動き

ISO/TC131 沖縄国際会議

(一社) 日本フルードパワー工業会が主催する ISO/TC131 沖縄会議が、5 月 18 日 (月) から 21 日 (木) までの 4 日間、沖縄県那覇市の沖縄県市町村自治会館 4F で開催されました。当初の予定では本年 10 月に日本で開催することでスケジュール調整を進めておりましたが、TC131 の事務局を務めるアメリカの NFPA から会議の開催を春にしてほしいとの要請があり、事務局で関係者と協議を行い今回の開催に至ったものです。日本での開催は、2010 年 10 月の東京会議に続いて 5 年振り 6 回目の開催となります。

今回の沖縄会議には、TC131 の議長国であるアメリカを初め、ドイツ、イギリス、フランス、イタリア、トルコの海外 5 カ国から議長、事務局を含む 25 名の方々が参加しました。日本からは、横浜国立大学の眞田先生、東京工業大学の香川先生、東京理科大学の中曽根先生を始め会員企業の委員等 11 名の方々が参加しました。

会議は、TC131/WG4 の空気圧機器の信頼性評価、SC1/WG2 の用語、SC3/WG2 の空気圧シリンダ、SC5/WG3 の空気圧の流量特性試験、SC5/WG5 の空気の調質、SC7/WG3 の Oリング及び SC7 の密封装置の各分科会が開催されました。それぞれの分科会では、関係委員の方々が積極的に議論に参画し、大きな成果を上げました。

また、レセプションには内閣府沖縄総合事務局経済産業部の水野 毅政策課長にも参加いただき開会式でのご挨拶をいただきました。海外からの参加者も含めて懇親を深め、和気あいあいのうちに散会しました。



レセプションで挨拶をする水野課長

投票に付されている ISO 規格案
(TC131)

ISO/FDIS 19973-1 Pneumatic fluid power --
Assessment of component reliability by testing
-- Part 1: General procedures

ISO/FDIS 19973-2 Pneumatic fluid power --
Assessment of component reliability by testing
-- Part 2: Directional control valves

ISO/FDIS 19973-3 Pneumatic fluid power --
Assessment of component reliability by testing
-- Part 3: Cylinders with piston rod

ISO/FDIS 19973-5.2 Pneumatic fluid power --
Assessment of component reliability by testing
-- Part 5: Non-return valves, shuttle valves,
dual pressure valves, one-way adjustable flow
control valves, quick-exhaust valves

発行された ISO 規格

ISO 10762:2015 Hydraulic fluid power --
Mounting dimensions for cylinders, 10 MPa (100
bar) series

ISO 3723:2015 Hydraulic fluid power -- Filter
elements -- Method for end load test

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
標準化事業／規格事業
〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

空気圧継手・チューブ分科会

日 時 5 月 11 日 (月) 13:30 ~ 16:00

場 所 機械振興会館 1-3 会議室

出席者 嵯峨主査以下 6 名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、平成 26 年度活動報告及び平成 27 年度活動計画 (案) について説明があり承認された。

次いで、空気圧用ポートねじの規格 ISO 16030 の JIS 原案について、全体を通して説明を行い検討した。

次回開催 : 9 月 17 日 (木) 機振会館 1-5 会議室

油圧バルブ分科会

日 時 5 月 12 日 (火) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 1-3 会議室

出席者 浦井主査以下 8 名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、平成 26 年度活動報告及び平成 27 年度活動計画（案）について説明があり承認された。

次に、平成 26 年度 12 月応募の JIS B 8659-2 3 方向流量制御弁の試験方法について改訂本文及び解説について通して見直した。

次回開催：9 月 8 日（火）機振会館 1-3 会議室

空気圧コンタミ分科会

日 時 5 月 29 日（月）13：30 ～ 16：30

場 所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 三浦主査以下 7 名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、工業会規格 JPAS 006 の見直しを行ない、新たに JFPA として改訂するための作業に入った。

次回開催：8 月 21 日（金）機振会館 1-5 会議室

~~~~~

## 技術調査事業

~~~~~

技術委員会空気圧部会第 511 回特許分科会

日 時 5 月 29 日（金）13：00 ～ 17：00

場 所 機械振興会館 5S-3 会議室

出席者 井野幹事以下 6 名

事務局 吉田

議 事

前回議事録確認後、公報の検討と無効理由調査について審議した。審議中の 4 件について、1 件は、今回で調査を終了することとした。1 件については次回見解書が提出されるとの報告があった。2 件については引き続き調査を行うこととした。特許分科会概要及び平成 26 年度の活動状況について確認した。

次回開催：6 月 26 日（金）京都府総合見本市会館第 6 会議室

~~~~~

## 中小企業関連事業

~~~~~

第 1 回中小企業委員会 WG

日 時 5 月 13 日（水）15：00 ～ 17：00

場 所 機械振興会館 B3-7 会議室

出席者 10 名

事務局 堀江、大橋

議 事

新年度第 1 回の WG であり、幹事及び事務局が交代となるため自己紹介を行った後、事務局の進行により議事を進めた。なお、事務局は工業会業務の都合により大橋氏から堀江氏に交代した。

1. 平成 26 年度活動の確認と平成 27 年度予定

昨年度秋の研修訪問先、同機関誌への報告を確認後、本年度 2 回目の委員会（7/8 開催、合同）を関西地区で行うことを紹介した。また、事務局から、今後、経済産業省（含む中小企業庁）からのお知らせや JFPA ホームページでの情報提供を積極的に配信していく方針であり、委員の皆様方のさらなるご活用をお願いした。

2. 研修視察行事について

進行を新幹事（風間委員、岸上委員）に交代し、秋の研修視察日程及び訪問先候補について、昨年度のアンケート結果と従来の訪問先などを参考に討議した。その結果、日程は 10 月の土・日、訪問先は四国地区を第一、北陸を第二優先として何社かの訪問候補企業に打診を開始することになった。具体的計画は 6 月末を目途に立案することとした。

~~~~~

## 会員ニュース

~~~~~

☆東京事務所の移転

（賛助会員）

国際興業（株）産業機械部

移転先

〒104-8460

東京都中央区八重洲 2-10-3

国際興業本社ビル 2 階

電話番号：営業第 1 課 03-3273-4121

営業第 2 課 03-3273-4122

営業第 3 課 03-3273-4123

営業統括課 03-3273-4130

FAX 番号：全課共通 03-3273-2231

なお、電話及び FAX 番号は変更ありません。

営業開始日：平成 27 年 5 月 7 日（木）

~~~~~

## 工業会ニュース

~~~~~

☆クールビズの導入について

4 月号の月報でお知らせした通り 5 月 1 日（木）～10 月 31 日（金）の間、当会主催の会議等への出席に当たっては、クールビズを導入しますので再度ご連絡します。

なお、経済産業省においても同期間中は、クルビズを導入しておりますので再度お知らせします。

~~~~~  
今後の主要行事予定  
~~~~~

- *平成 27 年
☆6 月 17 日 (水) 標準化・技術合同委員会
(場 所) 機振会館
☆7 月 8 日 (水) 第 2 回中小企業委員会
(場 所) 川崎重工業 (株)
西神戸工場
☆11 月 5 日 (木) 西日本支部総会
(場 所) 未 定
☆11 月 6 日 (金) 西日本支部合同懇親ゴルフ会
(場 所) 未 定

- *平成 28 年
☆1 月 14 日 (木) 年始会及び第 76 回理事会
(場 所) 東京プリンスホテル

~~~~~  
5 月に開催された当会各委員会に出席された皆様  
は以下の通りです。(敬称略)  
~~~~~

(国際交流事業)

- ハノーバーメッセ視察団報告会
開催日 5 月 14 日 (木)
出席者
団 長 野口恵伸 (KYB)
副団長 正村彰規 (CKD)
団 員 二片雅之 (光陽精機)
" 大野正博 (光陽精機)
" 横枕 祐 (CKD)
" 齋藤浩幸 (東京計器パワーシステム)
" 藤本康人 (東京計器パワーシステム)
" 青木一憲 (日東工器)
" 武藤健一 (日東工器)
" 杉村 類 (日本アキュムレータ)
" 下山弘高 (日本アキュムレータ)
" 高橋克之 (廣瀬バルブ工業)
" 田辺康伸 (廣瀬バルブ工業)
" 林崎潤市 (三尾製作所)
" 志賀光典 (三尾製作所)
" 平澤弘行 (フジカンケ化`ジ`ネアイ)
" 藤谷秀次 (日本フルト`パ`ワ`システム学会)

- (標準化事業/ISO 対策事業)
ISO/TC131 沖縄会議
開催日 5 月 18 (月) ~21 日 (木)
出席者 (日本)
委 員 眞田一志 (横浜国立大学)
" 香川利春 (東京工業大学)
" 中曽根祐司 (東京理科大学)
" 妹尾 満 (SMC)
" 田村和也 (SMC)
" 丸山哲郎 (SMC)
" 小田敏裕 (甲南電機)
" 東川智信 (TAIYO)
" 渋谷文昭 (東京計器)
" 中尾雅司 (NOK)
" 小畑博美 (JFPA)

- (標準化事業/規格事業)
空気圧継手・チューブ分科会
開催日 5 月 11 日 (月)
出席者
主 査 嗟峨秀一 (ニッタ)
委 員 中角正洋 (SMC)
" 條 茂幸 (SMC)
" 大場良太郎 (コガネイ)
" 細谷映之 (アオイ)
" 岩崎宏文 (イハラサイエンス)

- 油圧バルブ分科会
開催日 5 月 12 日 (火)
出席者
主 査 浦井隆宏 (ボッシュ・レックスロス)
委 員 原健二郎 (川崎重工業)
" 高野一治 (油研工業)
" 中野 潤 (ナブテスコ)
" 野田隆明 (ダイキン工業)
" 森田浩司 (廣瀬バルブ工業)
" 山口正志 (不二越)
" 小林 剛 (日立建機)

- 空気圧コンタミ分科会
開催日 5 月 29 日 (金)
出席者
主 査 三浦孝夫 (アトラスコプコ)
委 員 大嶽康行 (CKD)
" 榊田充隆 (コガネイ)
" 高橋隆道 (甲南電機)
" 永井祐文 (オリオン機械)
" 鈴木敏弘 (SMC)
" 中塚博士 (SMC)

(技術調査事業)

技術委員会空気圧部会第 511 回特許分科会

開催日 5 月 29 日 (金)

出席者

幹事 井野雅康 (SMC)

委員 伊東淳一 (アズビル TACO)

〃 出澤 大 (クロダニューマティクス)

〃 赤松直人 (甲南電機)

〃 佐藤 浩 (コガネイ)

〃 甲山登紀夫 (CKD)

(中小企業関連事業/その他事業)

第 1 回中小企業委員会 WG

開催日 5 月 13 日 (水)

出席者

委員 花岡隆司 (神威産業)

〃 高野和治 (光陽精機)

〃 廣井正夫 (大生工業)

〃 岸上宜憲 (日本オイルポンプ)

〃 風間英朗 (日本アキュムレータ)

〃 杉崎秀之 (廣瀬バルブ工業)

〃 福田賢二 (堀内機械)

〃 松井源太郎 (マツイ)

〃 木下純夫 (三尾製作所)

〃 保坂淳一 (理研精機)

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<5 月>

11 日 (月)

・標準化 (委) 継手チューブ分科会

12 日 (火)

・ISO (委) 油圧バルブ分科会

13 日 (水)

・中小企業 (委) 中小企業 WG

14 (木)

・第 16 回定時総会

・国際交流 (委) ハノーバメッセ視察団報告会

15 日 (金)

・第 54 回 JFPA ゴルフ懇親会

18 日 (月) ~21 日 (木)

・標準化・ISO (委) 沖縄 ISO 国際会議

29 日 (金)

・技術 (委) 空気圧部会第 511 回特許分科会

・標準化 (委) 空気圧コンタミ分科会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
